

# 私たちのビジョンは日本中の中小企業を元気にすること

古田土満氏(古田土会計事務所 所長)



当協会の監査役であり、28期増収増益の超優良会計事務所の所長である。「日本中の中小企業を元気にする」をビジョンとして掲げ、何よりも社員を大切に作る風土がある。初めて訪問したお客様は、先ず所長が受付にいることにびっくりする。同時に、150名の社員が一斉に起

立し「いらっしゃいませ」と大きな声で挨拶され、感動した記憶がある。

挨拶は相手の目を見て名前を読んで、相手より先に、元気良く、明るく、大きな声です。また、お互いに手を握り、お互いを元気づける。分離礼を奨励し、挨拶と礼は分けるのが望ましい。

また、社内の6Sを徹底されている。整理、整頓、清掃、清潔、躰、作法を遵守することにより、仕事の能率、質が向上し、社員の立ち振る舞いが美しくなるという。特に清掃は事務所周辺から駅まで本気で掃除をすることで、駅から事務所までのお客様へ感謝し、お迎えする姿勢には頭が下がる。経営計画表は所長自ら作成し、毎年ほとんど計画通り達成し、28年間実行されておられ、中小企業経営のお手本である。最後に、HP上で公開されている古田土先生の「汚い字」コラムは必見である。

# 19歳で来日して25年、旅行社の幹部としてCSR活動

Bobby Azadul Haque氏(株式会社HIS 執行役員)



NPO法人女子教育奨励会で、2010年6月ハック氏の講演を初めて聴いた。バングラデッシュのダッカ大学出身である。この大学で当協会弓山が2006年に招待講演させていただいたのでご縁を感じていた。大変プレゼン

テーションが上手だったので、いつか当協会でも講演していただけるのを心待ちにしていたのである。

バングラデッシュでのご家族、両親にも勘当され、1985年に当時30名であったHISへ入社した。初めは机もなく、営業外回りとピラ配りに日々が8ヶ月間続く。持ち前の負けん気、営業センスで営業本部長を歴任後、現在は執行役員を務め多忙な日々を送っている。

2009年には途上国の可能性を見つける旅を企画、バングラデッシュで起業家として活躍する山口絵里子さんとも交流を深め、役員会議では何度も説得し、2010年5月に悲願であったHISのバングラデッシュ支店を遂に開設。スタディツアーを通じて、若者の海外離れに警鐘を鳴らし、社会貢献したいと意欲旺盛である。ハック氏から日本人が本来忘れていた何かを教えられた気がする。今後の活躍に目が話せない親日家である。

# つなぐ仕事としての「出版」～「日本でいちばん大切にしたい会社」

佐藤和夫氏(株式会社あさ出版 代表取締役)



佐藤社長は、「日本でいちばん大切にしたい会社」をベストセラーにした仕掛け人であり、プロデューサーである。古田土会計事務所主催「経営計画発表会」の講師が、法政大学大学院の坂本光司教授であった。佐藤社長はその会場の末席に座り、その講演内容に深く感動し

た。坂本先生が何度も口ずさんでおられた「日本でいちばん大切にしたい」という言葉が心に響き、本にしたいとの申し出をその日の夜に電話をされている。坂本先生もいままで数々の著書をだされているが、このようなケースは初めてであった。

また、アジア失明予防の会理事の服部匡志の出版に関しては、当協会弓山が2006年にTV番組「情熱大陸」を見て感動し4年後に初めてお会いする時に、佐藤社長を含めてランチを一緒にし、その場で出版のOKをだされたのである。その本が「人間は、人を助けるようにできている」だ。

坂本先生の志をさらに広げようと、「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」創設を計画し、日本の中小企業の更なる発展に寄与する為に今日も奔走しているのである。

# ママでもやればできる 普通の主婦が、一流の人脈をもつまでの道のり

川上美保氏(有限会社オフィス・フォーハウト 代表取締役)



とてもパワフルで行動的な女性である。大変苦勞人でもある。自分が経営している会社で設立時から一緒に頑張ってきたビジネスパートナーを失い、心にぽっかりと穴があいた状態の時、熱い志をもった3人のママた

ちと出会う。そして会社を立ち上げた。「子育てしながら働くお母さんたちの応援がしたい」と。ところが、周囲からはサークル活動呼ばわりされたり、中々軌道に乗らなかった。どんどん苦しい方へ向い、多額の借金を背負う。自分を拒否し、否定し続けたという。だが、会社を維持することだけを考えていた。会社も危機状態になるが、あるセミナーが契機となり、5人の恩人と出会い人生が変わっていく。親、家族、会社への感謝が芽生え初め、前向きな気持ちが人脈を新たに形成していった。「人脈が私に夢を与えてくれた!」と言い切る。日本初となる女性だけで主催するイベント「マザーニア」を開催。

実行委員として活動しているのは、人脈も豊富な経験もある方々ばかり。彼女たちの共通点は、日本のお母さんの笑顔を求め、お母さんが輝くのを願っている。